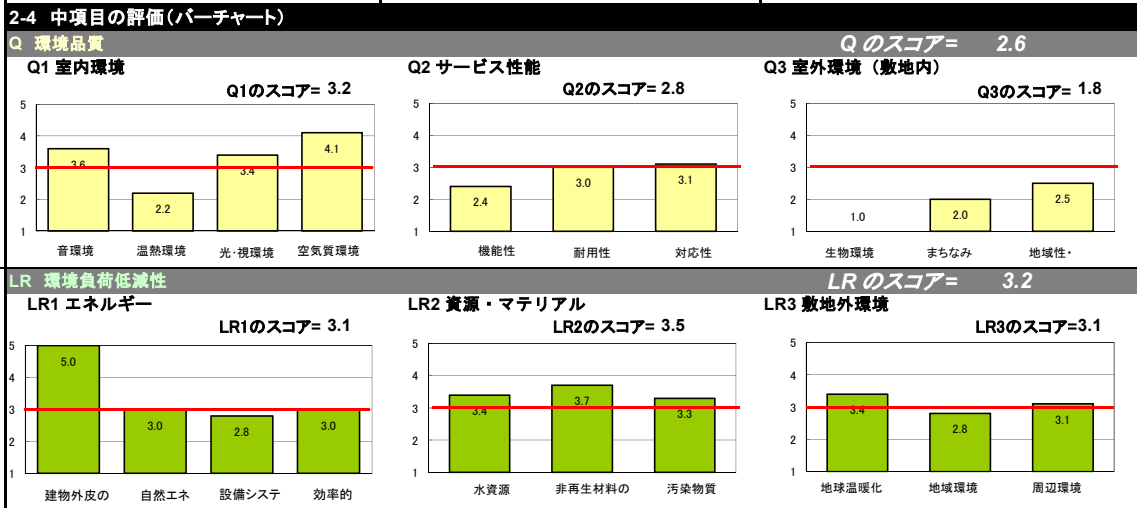
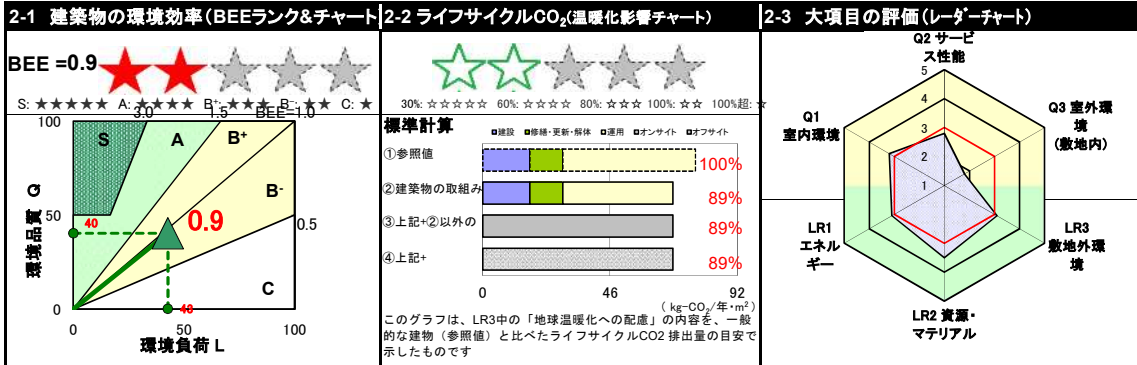


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	FTC西浜コンテナヤード 事務所・チェックゲート新築	階数	地上4F
建設地	愛知県海部郡飛鳥村西浜27番1の一部	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条の指定地域	平均居住人員	40人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	事務所工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2018年10月1日
敷地面積	8,475 m ²	作成者	齊藤 直哉
建築面積	1,139 m ²	確認日	2018年10月1日
延床面積	2,474 m ²	確認者	齊藤 直哉



3 重点項目		
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.4</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>	
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.3</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材・外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>	

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性・Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{附属物面積}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部							建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			建物全体・共用部		建物全体・共用部		居住・宿泊部分		居住・宿泊部分		全体			
		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体		
Q 建築物の環境品質																
Q1 室内環境																
1 音環境																
1.1 室内騒音レベル																
1.2 遮音																
1 開口部遮音性能																
2 界壁遮音性能																
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																
1.3 吸音																
2 温熱環境																
2.1 室温制御																
1 室温																
2 外皮性能																
3 ゾーン別制御性																
2.2 湿度制御																
2.3 空調方式																
3 光・視環境																
3.1 屋光利用																
1 屋光率																
2 方位別開口																
3 屋光利用設備																
3.2 グレア対策																
1 屋光制御																
3.3 照度																
3.4 照明制御																
4 空気質環境																
4.1 発生源対策																
1 化学汚染物質																
4.2 換気																
1 換気量																
2 自然換気性能																
3 取り入れ外気への配慮																
4.3 運用管理																
1 CO ₂ の監視																
2 喫煙の制御																
Q2 サービス性能																
1 機能性																
1.1 機能性・使いやすさ																
1 広さ・収納性																
2 高度情報通信設備対応																
3 バリアフリー計画																
1.2 心理性・快適性																
1 広さ感・景観 (天井高)																
2 リフレッシュスペース																
3 内装計画																
1.3 維持管理																
1 維持管理に配慮した設計																
2 維持管理用機能の確保																
2 耐用性・信頼性																
2.1 耐震・免震・制震・制振																
1 耐震性(建物のこわれにくさ)																
2 免震・制震・制振性能																
2.2 部品・部材の耐用年数																
1 躯体材料の耐用年数																
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																
6 主要設備機器の更新必要間隔																
2.4 信頼性																
1 空調・換気設備																
2 給排水・衛生設備																
3 電気設備																
4 機械・配管支持方法																
5 通信・情報設備																

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

FTC西浜コンテナヤード 事務所・チェックゲート

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.4
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.4	0.10	
② 資源の有効活用				3.3
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.1	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.11	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$ の総和

重点項目スコア= $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 FTC西浜テナヤード 三

計画上の配慮事項	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、全館禁煙として室内の良好な空気環境の確保を図っている。
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数の長い内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・天井高を高く確保することで、室内の快適性の向上に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の高さを抑え、景観に配慮している。
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。 ・OAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> ・光害対策ガイドラインチェックリストの過半、広告物照明の取り扱いの配慮事項の項目の一部を満足している。
その他	-